

# とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

## 渋谷区山谷かきのみ園 実践紹介！

### とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の  
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

わくわく

## 「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？



好奇心を持つ  
きっかけを増やす

どうして？

できるかな？

こうしてみよう！



考えを広げる

できた！

今度はあれを  
やってみようかな



考えを深める

## すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

### 非認知能力とは

自己に

かかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性に

かかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

### 豊かな心の育ちを応援

乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都とCEDEPは、「とうきょうすくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょうすくわくプログラムは  
こちらからご覧いただけます。

とうきょうすくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょうすくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



## 渋谷区山谷かきのみ園

電話

03-3370-1410

所在地

渋谷区代々木 3-32-13



# 渋谷区山谷かきのみ園で

4歳児  
クラス



## とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

### テーマ 色

山谷かきのみ園の4歳児クラスの子供たちは、絵の具で色を塗ることが好き。色遊びを楽しんだり、個人で色作りを楽しむ過程で探究に取り組めるように、テーマを設定しました。

#### 活動① きれいな色ってなあに？

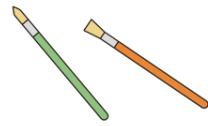
子供たちはよく「きれい」という言葉を使います。そこに注目し、「きれい」な色を3つ選び、グループごとに大きな模造紙の上で「きれい」な色を作りました。



きれいという言葉  
どんな時に使うの？



なぜきれい  
と  
感じるの？



「きれい」なものは…  
「幼稚園」「青」「リボン」「オレンジ」



色を混ぜるとき、他の友達が作った色と混ぜ合いながら、新たな色が生まれていました。

#### 活動② あたたかい色ってなあに？

活動①を通して、「白は心があたたまる色。いちばん優しいから」という言葉が子供たちから出てきました。「あたたかい色とはどんな色か」を探究しました。



心があたたまる時って、どんな時？

人形と寝る時かな



「暖色系」ではなく、水色が並んでいたのが意外でした。自分の生み出した色だからこそ、愛着が生まれて「あたたかい」になったのかもしれない。

#### 活動③ 子供たちと色

ある子から、「白色を混ぜることで色が薄くなる」という言葉がありました。そこで、パステルカラーを作る準備をして、色を混ぜるということを探究しました。



活動②の時に、「黒も心あたたまる色」という言葉があったことから、白または黒のキャンパスに好きな色を選び、混色に取り組みました。



お互いの色を共有して振り返る子供たちの姿や、一人ひとりが色を通して「きれいさ」に心が動いている様子が見られました。